

まちかど・ズーム IN!

いつまでもお元気で

敬老祝金・記念品贈呈



▲特別敬老祝金を贈られる米澤さん
米澤さんは7人家族。大家族に囲まれ、幸せにお暮らしです。

敬老の日を前にした9月3日、4日の両日、川井市長が市内のお年寄りのお宅を訪問し、長寿のお祝いをしました。祝福されたのは、9月26日に満100歳になられる米澤トラヨさんをはじめ12人です。米澤さんには特別敬老祝金100万円が贈られ、100歳以上の長寿者には、松竹梅敬老祝金10万円、今年度に99歳になられる方には、白寿祝いの金杯が贈られました。(敬称略・年齢は9月現在)



◀市内最高齢の川口さん

▲川井市長と談笑する麻生さん

- 100歳になられた方
米澤トラヨ(堂場前)
- 100歳以上の方
川口さと(越河)102歳、麻生ミヨ(南町)101歳、氷見志う(東大畑)101歳
- 99歳の方
草野とめ(東大畑) 太田 むめ(田町) 大森しん(不澄ヶ池) 伊藤タケヲ(寿山) 遠藤うの(大平中目) 佐藤とらよ(福岡深谷) 片岡愛子(福岡蔵本) 小泉丞なよ(小原)

南中学校体育館が完成

建設が進められていた南中学校の新体育館が完成し、8月31日、全校生徒をはじめ保護者や地域の方などが出席して披露式が行われました。

新体育館は、深夜電力を利用した蓄熱式暖房や、太陽熱利用の舞台暖房を採用するなど、快適に使用できるように配慮されています。また、外壁の色は生徒たちが選定しました。



素晴らしい感動の舞台に

式典後には、南中学校同窓会の皆さんから寄贈されたグランドピアノで、白石市出身の国立音楽大学講師大場郁子さんの記念演奏が行われるなど、地域全体で完成を祝いました。

真の交流は全カプレーから

海老名・白石姉妹都市親善少年野球

今年で11回目となる、姉妹都市海老名市との少年野球交流大会が、8月24日、海老名市から選手を迎えて益岡公園野球場で開催されました。

両市の少年野球チームから選抜された各2チームの選手が熱戦を繰り広げました。結果は海老名市の2勝でしたが、選手たちの全カプレーに盛んな声援が送られていました。

試合やホームステイなどを通じてお互いの理解と親善を深めているこの交流。10月には白石の選抜チームが海老名市を訪問して交流します。



すがすがしい気分で体育祭を

地区民ボランティアで会場整備

8月25日の早朝、小原地区で、9月に開催される地区体育祭を前に地区民ボランティアによる会場整備が行われました。



公民館運営委員会が、体育祭の会場となる小原小・中学校校庭の除草作業を呼びかけたところ、蒸し暑い天気にもかかわらず約230人もの地区の方々が校庭に集まりました。

作業が始まると、見る間に校庭の雑草が消えて、参加者は「これで気持ちよく体育祭ができる」と満足そうに話していました。

白足袋を履いて能舞台上に立ったよ!

白石二小で能の体験学習



9月5日、白石二小の6年生114人が能の体験学習を行いました。

学校の視聴覚室で能の紹介ビデオを鑑賞した後、会場を学区内の碧水園に移して体験講座を行いました。

講師は能楽せけなどでおなじみの小島英明さん。児童たちは「高砂」の一節を全員で謡い、扇の持ち方やすり足などを教わって、白足袋を履いて能舞台上で舞いを体験しました。

ほとんどの児童が初めて能楽堂に入ったとのこと。今回の授業で能がより身近な存在になったようです。